



新潟日報

社所蔵品による

# ふるさと作家たち



## 2014年 8月30日 土 — 10月17日 金

休館日 | 月曜日(祝日は開館)、9月16日(火)\*9月22日(月)は「あいてマンデー」で開館  
 開館時間 | 午前10時～午後5時(観覧券販売は午後4時30分まで)  
 観覧料 | 当日 一般600円 大学・高校生400円 中学生以下無料  
 \*団体は有料20名以上で2割引  
 \*S Lばんえつクーポン持参の方などは割引あり  
 \*障がい者手帳・療育手帳をお持ちの方は無料(手帳をご提示ください)

前売券 | 450円(一般のみ) 前売取扱期間 | 8月1日～8月29日

前売取扱場所 | インフォメーションセンターえん(メディアシップ1F)、NIC新潟日報販売店、新潟県立近代美術館・新潟県立万代島美術館・新潟県立自然科学館の各ミュージアムショップ、新潟市美術館、新潟市新津美術館

主催 | 新潟市新津美術館、新潟日報社

共催 | BSN新潟放送

後援 | NHK新潟放送局、N S T、TeNYテレビ新潟、UX新潟テレビ21、NCV新潟センター、エフエムラジオ新潟、FM PORT 79.0、FM KENTO、ラジオチャット・エフエム新津、エフエム角田山ぽかぽかラジオ

左/上から 三輪晃勢《東海の富士》、會津八一《日々新又日新》、岩田正巳《白うさぎ》、小野末《妙高》  
右/上から 大矢紀《妙高山》、中澤茂《陽春玉籠雪山》、三浦文治《夏休み》、小島丹彦《関日》



### 新潟市新津美術館

〒956-0846 新潟市秋葉区蒲ヶ沢109-1 花と遺跡のふるさと公園内(新潟県立植物園となり)  
TEL:0250-25-1300 <http://www.city.niigata.lg.jp/nam/>

新潟県は、いままで多くの優れた作家を輩出しています。昭和17年(1942)に創立した新潟日報社は、半世紀を超える歴史の中で地域の芸術文化の振興にも力を注ぎ、新潟県出身作家との関わりも深く、美術作品を多く所蔵してきました。本展では、新潟日報社の所蔵品から、日本画や洋画、書、工芸、彫刻などの様々な分野で活躍した新潟県出身の作家たちの作品を中心に紹介し、あわせて新潟にゆかりのある県外作家の作品を紹介します。

新潟の美術をリードしてきた多彩な顔ぶれと、普段見ることのない見応えのある作品をお楽しみください。



伊藤赤水<無名異香炉>



三浦小平二<青磁花瓶>

### 出品予定作家 (五十音順)

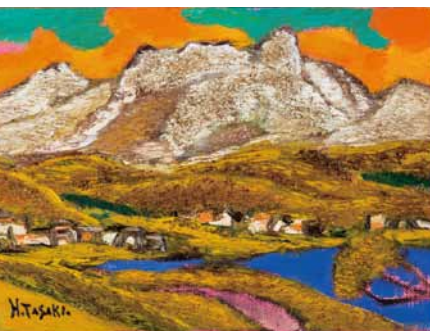
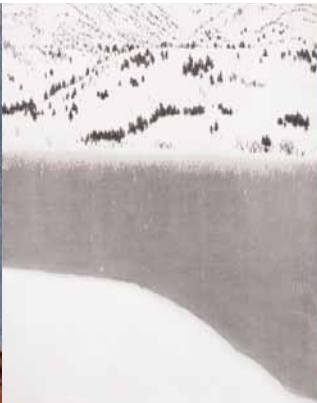
#### ■県内出身作家

會津八一、安宅安五郎、安宅庸雄、五十嵐晴徳、市橋鷺山、石山恵美子、伊藤赤水、伊藤豊、岩田正巳、岩野勇三、内山格、浦上義昭、江川蒼竹、大橋廣治、大矢十四彦、大矢紀、岡田紅陽、小野末、小柳耕司、加藤信一、亀倉蒲舟、亀倉康之、河内文夫、北島吾二平、黒井健、桑原実、小島丹濤、小山良修、近藤直行、斎藤三郎、齋藤満寿、笹岡了一、笹谷幸吉、柴田長俊、白鳥十三、新保兵次郎、関屋俊彦、高井進、高橋順男、高橋信一、高橋美則、竹内臨川、竹谷富士雄、田代修一、近松一雄、千野茂、鶴巻三郎、富岡惣一郎、富川潤一、富田温一郎、長井亮之、中澤茂、長浜数右衛門、羽賀善蔵、浜倉清光、早津剛、原直樹、原益夫、星野勇、細野実、三浦小平二、三浦文治、峰村リツ子、二代宮田藍堂、三代宮田藍堂、宮田亮平、三輪晃勢、目黒順三郎、横山操、吉田志麻、涌井欽也、渡辺啓輔、渡辺信二、渡辺徹

#### ■県外出身作家

青山杉雨、伊東深水、今泉今右衛門、上村松篁、奥村土牛、川崎春彦、六代清水六兵衛、小堀進、小谷津雅美、高木典利、田崎広助、田付鈴児、田中稔之、豊秋半二、中路融人、中村研一、鍋井克之、野間仁根、萩谷巖、橋本明治、林武、張替正次、平松礼二、吹田文明、藤城清治、村上三島、森田曠平、矢崎庸夫、山下清

都合により一部変更することがあります。



上段左から/新保兵次郎<まきば>、長井亮之<ストレリチア>、渡辺啓輔<姫百合など>、富岡惣一郎<雪 信濃川>、原益夫<冲天> (県内出身作家)

下段左から/田崎広助<妙高山の新春>、中路融人<富嶽>、青山杉雨<三馬の図>、森田曠平<桃山おとめ> (県外出身作家)

### ■作品解説会

9月14日(日)、10月11日(土) 午前11時~12時  
作品解説を行います。申込み不要、直接会場にお越しください。  
講師:新津美術館長 横山秀樹  
参加無料(当日観覧券が必要です)

### ■当館職員による美術講座(各回13:30~15:00)

新潟をテーマにした美術講座を4週連続で行います。  
9月13日(土) 新潟の風景(講師:大森慎子)  
9月20日(土) 旧県展と新潟の洋画(講師:小林一吉)  
9月27日(土) 新潟の金工作家たち(講師:小熊千佳子)  
10月4日(土) 新潟に生きた日本画家たち(講師:横山秀樹館長)  
会場:新津美術館1階レクチャールーム 聴講無料(申込不要)  
定員:30名

### ■移動美術館

新津美術館の所蔵品を、江南区文化会館で展示します。(観覧無料)  
会場 新潟市江南区郷土資料館 展示室(江南区文化会館内)  
日時 9月9日(火)~23日(火) 金曜休館  
10:00~19:00(日曜・祝日は17:00まで)

#### 出品予定作家:

石川侃齋、市村三男三、大矢黄鶴、亀倉蒲舟、笹岡了一、佐々木裕久、佐藤昭平、関屋俊彦、長井亮之、中村琢二、代谷実、早津剛、星野勇、村山忠雄、渡辺啓輔 ほか

### ■新津美術館の次回展覧会

第8回秋葉区美術展覧会 10月25日(土)~11月3日(月・祝)  
絵本原画展 きんしゃとマースとなかまたち 11月8日(土)~12月25日(木)  
第11回新潟教育アート展 2015年1月4日(日)~1月17日(土)  
メタルズ!~変容する金属の美~ 2015年1月24日(土)~3月8日(日)



佐々木裕久  
《冬の靈気楼》  
1999年

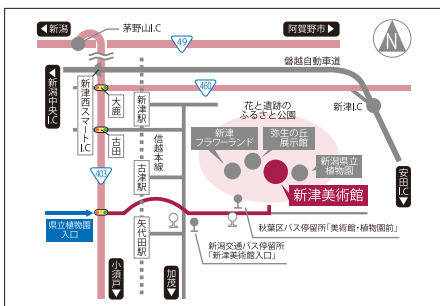
### 文学の朗読と音楽の公演

#### ■シーズン&アート 第31章「金子みすずの唄」

金子みすずの文学の朗読・解説にあわせて、音楽の演奏をお楽しみください。  
日時 10月13日(月・祝) 午前10時30分~/午後1時30分~/2回公演  
会場 燕喜館 (新潟市中央区一番堀通り1-2、白山公園内)  
文学 金子みすず 詩集より  
朗読:石塚おり (BSNアナウンサー)、和田朋子 (BSNパーソナリティ)  
解説:若月忠信(文芸評論家)  
音楽:土佐美華(チェロ)、加藤礼子(ヴァイオリン)  
事前申込み(8月31日まで電話で受付開始)  
電話:0250-25-1300  
料金:1,000円  
定員:各回80名(先着順)  
※参加者には、次回展覧会特別招待券をプレゼント。



石塚おり 土佐美華 加藤礼子



### ■交通アクセス

- JR 古津駅から徒歩約25分/新津駅からタクシーで約15分、矢代田駅からタクシーで約5分
- 車 (新潟方面から) 国道49号から茅野山ICを国道403号加茂・新津方面へ(新潟駅から約20km、約45分)  
高速道 磐越自動車道・新津ICから約20分、新津西スマートICから約15分  
※新津西スマートICは会津若松方面の出入りはできません。
- バス JR新津駅東口バス停から、秋葉区バスに乗り約25分、「美術館・植物園前」で下車、徒歩すぐ。もしくは新潟交通バス「矢代田経由白根・湯東行き」に乗り約12分、「新津美術館入口」で下車、徒歩5分  
JR矢代田駅南バス停から、秋葉区バス「新津駅東口行き」に乗り約10分、「美術館・植物園前」で下車、徒歩すぐ。もしくは新潟交通バス「新津行き」に乗り約3分、「新津美術館入口」で下車、徒歩5分

#### ■新潟交通バス時刻表

新津-矢代田-湯東営業所線			
新津駅東口発	新津美術館入口	新津美術館入口	新津駅東口
11:25	→11:37	12:16	→12:33
12:35	→12:47	13:28	→13:45
16:35	→16:47	16:34	→16:51

#### ■秋葉区バス時刻表

新津駅東口発-新津駅西口行			
新津駅東口発	美術館・植物園	美術館・植物園	新津駅西口
9:25	→9:49	11:56	→12:20
13:10	→13:34	15:41	→16:05

### ■こどもタイム

会場に音楽が流れて、会場を楽しみながら鑑賞できます。  
会期中の第1・3の木曜・日曜日 10:00~13:00  
[9/4・7・18・21、10/2・5・16]

### ■託児サービス(無料)

お客様の鑑賞中にも、お子様を専門スタッフがお預かりいたします。  
会期中の第2・第4の木曜・土曜日 [9/11・13・25・27、10/9・11]  
(事前申込み、先着順)  
【時間】10:00~12:00  
【定員・対象】3名程度、生後6ヶ月~就学前のお子様  
【申込方法】利用日の3日前までに電話(0250-25-1300)でお申込みください。